

平成29年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立かみふくおか西デイサービスセンター	所管課	高齢福祉課
指定管理者名	いるま野農業協同組合	施設分類	保健・福祉施設
指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成30年3月31日	利用料金制導入	利用料金制のみ
導入年月日	平成18年4月1日	指定回数	3回
施設設置目的	高齢者に対し、その心身の健康保持及び生活の安定のために必要なサービスを行うための施設として設置する。		
施設概要	【開設】平成12年4月1日 【延床面積】658.87㎡ 【主な施設】介護者教室、相談室、展示スペース、事務室		
管理運営の基本方針	(1) センターの設置目的である、高齢者に対し、その心身の健康保持及び生活の安定のために必要なサービスに寄与できるよう管理運営を行うこと。 (2) 公の施設として、その利用に際して平等かつ公平な管理・運営を行うこととし、特定の団体等に有利あるいは不利になるような取扱いをしないこと。 (3) 質の高いサービスの提供と効率的な業務の執行により、施設の特性を最大限活用できるよう、創意工夫に基づく効果的な管理運営を目指すこと。 (4) 地域住民や利用者の意見・要望等を真摯に受け止め、利用者サービスの向上に努め、施設の利用促進を図ること。 (5) 施設・設備の内容を十分に把握したうえで、すべての施設・設備を清潔かつその機能を正常に保持し、施設利用者に快適で安全な利用を供することができるよう適正な維持管理を行うこと。 (6) 個人情報の保護や各種法令遵守を徹底するほか、危機管理意識に基づく健全かつ安全な業務執行を図ること。 (7) 管理運営費の節減に努めること。		
指定管理者の主な業務	通所介護(デイサービス)、介護予防通所介護 ※介護保険事業		

【評価項目】

【評価基準】 5:目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合 / 4:目標値以上の結果で評価できる場合(上記「5」以外)、又は業務等が適切で、期待する水準以上であった場合 / 3:業務等が適切で目標値に達している場合、又は業務等が期待する水準どおりであった場合 / 2:実施計画に基づく管理運営や事業の実施が目標値又は期待する水準をやや下回る場合 / 1:目標値を大きく下回る場合

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	利用者に対し、心身の健康保持及び生活の安定に必要なサービスを寄与できるよう実施をした。また、平成30年3月末日をもって施設の閉所が決定したことにより、一人ひとりの移行先に最善の施設を見つけていただくことを最優先にした。	2
区分	具体的な取組の状況・実績	
リハビリ	個々の身体機能に応じたリハビリを実施。事故や怪我等に配慮しながら、身体機能の維持向上と自立支援に貢献をした。	
自主事業	外部ボランティア(音楽や芸など)に協力を依頼した。また、近隣の霞ヶ丘保育所や西小学校の児童との世代間交流を図り、利用者の意欲を増進させることができた。	
利用者対応	利用者一人ひとりと面談を重ね、最善の移行先施設を決定した。	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
特記事項(問題等があった場合)	特になし	3

3 施設の有効活用

施設利用状況		利用区分等	予定(計画・目標) 人	利用実績 人	対前年比	年度目標達成率	評価
		通所介護・予防介護	7,325	5,062	67.1%	69.1%	3
		(特記事項) 通所介護・予防介護の区分計画はなく合計の計画・目標になっている。 ※平成30年3月末実をもって閉所(指定管理の終了)が決定したことに伴い、利用者のサービスに変更(事業所の変更)が必要になったことにより、同年1月から利用者が減少している。					
事業 実施 内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由			
	市指定事業	(1)生活指導に関すること。 (2)機能訓練に関すること。 (3)介護サービスに関すること。 (4)介護方法の指導に関すること。 (5)健康状態の確認に関すること。 (6)送迎に関すること。 (7)給食に関すること。 (8)入浴に関すること。 (9)他に法に基づき厚生労働省令で定めるものに関すること。		予定通り実施できた。			
	自主事業	・自主的な取り組み 外部床屋による散髪 誕生日におこなわれる食事会 霞ヶ丘保育所及び西小学校との交流活動 音楽療法士により音楽療法の時間 書道教室(外部ボランティア)		JAらしさを出すため、毎月の昼食にメニューにJAフェアとして地元農産物を使用した食材を提供し、また季節を感じてもらうため、イチゴ狩りやブドウ狩り、芋ほりなどを自主事業として行った。 誕生日に行う食事会は、1月以降利用者がほとんどいなくなるため、1・2・3月が誕生日の方については前倒して年内に行った。			
利用サービス向上の取組		外部研修への参加、毎月の定例会議での職員研修を実施した。					

4 利用者評価

区分	内容		評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法	毎月の職員会議での情報共有	3
	(2) 調査、会議等の内容	所長・生活相談員・介護員・看護師合同の定例会議の実施	
	(3) 調査、会議等の結果	会議の内容をまとめ、実施出来るものはすぐに又改善点や気をつける点などは、全員が意識して取組むよう指示した。	
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価	新規のボランティアさんも増え、毎月たくさんのボランティアさんが来てくださり、職員も中に混ざって歌を披露したり劇に参加したりするととても喜んでくれた。	3
	(2) 苦情・改善等の要望事項	席の配置について、認知症状等の状態に合わせて配置を考えていたが、「空いた時間にボーっとしてしまっている人がいるから一緒にオセロなどをしたいのもっと席の配置を変えてもいいのでは」との要望があった。 《対応措置》 認知症の状態や性格面等から相性が合わない利用者もいるため、席の配置には一番気をつかう。常に同じ席ではなく、食事のときは離れて、お昼休みは席を移動して一緒にレクを楽しむなど、できるかぎり対応した。	

5 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(平成29年度)				市の収支				評価	
	年度計画額		収支実績額		平成29年度決算		平成28年度決算(前年度)			
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額		
事業収支 (単位:円)	収入	利用料金	57,610,000	利用料金	40,188,757	歳入	施設使用料		施設使用料	
		指定管理料		指定管理料			行政財産使用料		行政財産使用料	
		自主事業※		自主事業※			国庫支出金		国庫支出金	
		雑入		雑入	124,689		県支出金		県支出金	
							その他		その他	
		計	57,610,000	計	40,313,446		計	0	計	0
	支出	人件費	41,356,350	人件費	43,811,624	歳出	修繕料		修繕料	
		消耗品費	390,000	消耗品費	190,925		保険料		保険料	
		光熱水費	3,832,000	光熱水費	3,394,219		指定管理料		指定管理料	
		委託料	3,120,000	委託料	2,045,737		業務委託料		業務委託料	
		賃借料	910,000	賃借料	683,611		土地・建物賃借料		土地・建物賃借料	
		通信費	250,000	通信費	242,369		その他		その他	
		保険料	279,500	保険料	293,745					
		修繕費	1,280,500	修繕費	1,503,938					
		事業費(市指定事業)		事業費(市指定事業)						
		事業費(自主事業)		事業費(自主事業)						
		公租公課	4,500	公租公課	3,765					
		現場管理費	5,867,500	現場管理費	4,081,864					
		一般管理費(本社経費等)	0	一般管理費(本社経費等)	511,301					
		計	57,290,350	計	56,763,098		計	0	計	0
損益	319,650		△ 16,449,652	差引	0		0			
※自主事業は 該当箇所のみ 記載すること	自主事業		収入							
			支出							
	自主事業損益	0	自主事業損益	0						
人件費比率【人件費/指定管理者事業支出】								77.2%		
事業収支における経営分析					平成30年1月ですべての利用者の他施設への移管が完了し、大幅に収益減となった。					
一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由					本社経費は、減価償却費を按分して計上					

2

6 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	3
	配置実績 所長1名・生活相談員2名・看護師2名・介護員10名・運転手2名(常勤・非常勤含)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	適	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	適	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	適	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
その他	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	適	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか		

7 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目	評価	総合評価	
		保健・福祉施設	
施設の設定目的の達成	2	D	
指定管理者の健全性	3		
施設の有効活用	3		
利用者評価	3		
事業収支	2		
管理運営全般	3		
危機管理体制	3		
評価理由	<p>通常業務における事業実施体制については、事故・トラブルの発生は無く、利用状況については、利用者からも評価を得た。年度後半は、施設閉所に向けた準備作業となり、利用者数は大幅に減少した。よって赤字幅も上昇したことにより、評価「D」となった。</p>		
取組・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項
	<p>・施設の老朽化が進んでおり、迅速な施設改修が必要であったが、施設の閉所が決定し、次期施設の改修に合わせて実施することとなった。</p>	<p>・施設の老朽化に伴い、可能な限りの修繕を行い、施設の維持管理に努めた。</p>	<p>平成30年3月31日をもって施設を閉所(事業終了)した。</p>

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

① サービス向上に向けての取組

定例会議を毎月開催し、新しい事業の提案や利用者個々の問題点や注意点などを全員で共有し、事故やトラブルなどをなくす努力をした。

② 業務の効率化に対する取組

日々朝礼等でデイルーム内の業務に関する注意喚起を行い、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めるとともに、利用者ご家族とのコミュニケーションを重視し、利用者の移管を円滑に進めた。また、ノー残業日や有給取得計画を設定し、労働環境の改善を図った。

③ その他

朝礼において交通安全心得の復唱を行い、交通事故の防止に努めた。

(2) 管理業務実施上の課題

なし

(3) 次年度以降の取組

なし